

第2回開催！

【開催案内：京都大学学部学生向け】

百万遍談議



「なにげないひとことがノーベル賞に」

かつて百万遍周辺の喫茶店では、「読書会」と称して、違う分野の学生が集まってひとつのテーマで議論をする姿がしばしば見られました。コーヒー1杯で数時間いても店の人は気にもせず、ひたすらコップにお水をついでくれたものです。あるいは「下宿」に集まってなされた議論は、同じ下宿の他学部の人だけでなく、他大学の学生も加わって、それこそ朝まで延々と続けられたというのが茶飯事でした。

最近ではコロナの影響もあり、学生同士の議論というものが影をひそめているように思います。加えてそもそも喫茶店自体がどんどん少なくなっていきます。

そこで、今春始動した京都大学人と社会の未来研究院では、往時に盛んであったそんな議論の場を、「百万遍談議」として復活させようと思い、このような企画を立ててみました。京都大学の学部学生であれば、学部や学年は問いません。

授業ではありませんので、なにかこうしなければいけないという義務はなく、単に興味があるから参加して、ひとの話聞き、自分の考えを述べる。それだけです。毎回のテーマに関して、あらかじめ知識が必要となるわけではありません。唯一お願いするのは、毎回提示される「書物」あるいは「短文」を読んできること、それだけです。

「ひとはこんなことを考えているんだ」ということを知るだけでも楽しいですし、さらには、自分の考えをひとにきいてもらうことの楽しさも、大学生に与えられたある種の特権です。気軽な気持ちで参加してくださいませよう。タイトルの「なにげないひとことがノーベル賞に」というのは、この場での出会いが、文系理系問わずノーベル賞級の研究や業績を生むことを秘かに期待してのことです。数十年後の世界を夢想しながら、いろいろな人と人、人と言葉あるいは考えの出会いが生まれることを楽しみにしています。

【第2回百万遍談議】

日時：12月17日（土）10:30～12:00

場所：附属図書館3階共同研究室5

話題提供者：沼田英治（人と社会の未来研究院 特定教授）

対象：京都大学学部学生（正規生）先着8名

使用言語：日本語

テーマ：「男英語の話」

申込：<https://forms.gle/M5GHu7c2Wx5tvbd79>

主催：京都大学 人と社会の未来研究院

問い合わせ：人と社会の未来研究院・「百万遍談議」担当

ifohs_team@mail2.adm.kyoto-u.ac.jp

申込フォーム：



2022年12月17日

百万遍談議 開催報告

第2回 「男英語の話」

話題提供者

沼田英治

(人と社会の未来研究院特定教授／京都大学名誉教授)

参加者：3名

[内訳]

3回生3名（いずれも理学）＊うち1名は留学生

談議メモ

昭和40年代当時の高等学校教育におけるジェンダーの問題（教育の機会均等）を中心に取り上げた使用テキストをベースに、話題は大学の専門性にまで及び、国際比較も含めた活発な議論が繰り広げられました。

使用テキストに、当時の男子が家庭科を履修しない代わりに素晴らしいテキストで英語を学ぶ機会を得たことで「間違いなく男子が得をしていたと今では思っている」と記載された箇所について、参加者から、「男子も家庭科を履修していたら、もっと得をしたと思ったかもしれない」という鋭い指摘も。現代の日本でも大きな課題であり続けているジェンダー問題について、教育の現場から实际的に考える機会となりました。